

令和7年度第1回総合教育会議 会 議 録（概略版）

と き：令和7年10月9日（木）15時00分

ところ：湯前町役場 応接室

湯 前 町

令和7年度第1回湯前町総合教育会議 会議録（概略版）

令和7年度第1回湯前町総合教育会議を令和7年10月9日午後3時00分より湯前町役場応接室において会議を開いた。

出席者

湯前町長 長谷 和人
湯前町教育長 栃原 秀明
湯前町教育委員会委員 林 敦子
湯前町教育委員会委員 藤岡 祐子

委員以外の出席者

教育課長 赤池 寛子
教育課主幹 山崎 祥子

議題

- (1) 児童・生徒数の推移について
- (2) 教育課所管諸事業について
- (3) 湯前町奨学金について
- (4) 教育委員会組織について

【配布資料】

1 会議次第

2 議題資料

- (1) 児童・生徒数推移表 R6～17年度
- (2) 教育課所管諸事業資料
- (3) 奨学金令65年度決算・基金額推移表
- (4) 教育委員会組織資料
- (5) 令和6年度第1回総合教育会議録（概要版）

3 参考資料

- ・児童生徒数推移予測（給食費）資料

1 開会 午後2時58分 教育課長

2 町長挨拶

- ・教員の労働時間について（新聞記事より） 前回調査より減少しているものの世界最長。
- ・時期学習指導要領について、一定の範囲内でコマ数増減を学校裁量へ 中教審の答申を今年度中になされる。
- ・行政、教育の DX 推進で、漫画のまちづくりを中心に進める中で「まんが未来共創フェロー」として 2 名委嘱 県内初 中央の情報を集め町政推進に生かしていきたい。
- ・本日 4 つの議題について議論をお願いしたい。

3 教育長挨拶

- ・総合教育会議に関する全般的事項
町の豊かな教育資源を活用しながら、湯前町で学んでよかったと思える取り組みを行いたい。

4 会 議 議事進行：長谷町長

（１）児童・生徒数の推移について

教育課長より資料説明

① 児童・生徒数推移表 R6～17 年度

長谷町長より出生数について補足説明 他町村からの転入者で母子手帳保持者がいるという情報があり、年度末まで 11 名の見込みであるとの保健師からの情報
少ない児童生徒数で、学力低下をせず、スポーツに関しても負けない体力をつけさせていかなければならない。

【質疑等】 特になし

（２）教育課所管諸事業について

教育課長より資料説明

①令和 6 年度の教育課所管諸事業を説明

長谷町長より現在整備中の中学校体育館と小学校体育館は、避難場所指定ということで総務課所管で緊防債を活用し整備。夏季、冬季の屋内運動場という性格も持つ。後には B&G も緊防債で整備したい。小中学校トイレ様式化は事業採択されないことから、県庁施設課にて要望予定。

高等学校等通学費補助について補足、駅前周辺再開発事業等の見通しを追加説明

【質疑等】

林委員

- ・奥球磨駅伝、男子と女子の負担金の大きな違いはなぜか。

教育課長

- ・女子駅伝の事務局は湯前町。toto スポーツ振興くじ助成申請を本町が行い、助成金を受け入れ、町負担金と合わせて実行委員会へ支出するため男女の差が生じている。

長谷町長

- ・給食甲子園の審査結果について教育長よりご説明いただきたい

教育長

- ・大会事務局から全国大会決定した旨連絡あり。正式な公表は10月24日

(3) 湯前町奨学金・入学準備金基金について

教育課長より資料説明

① 奨学金令和6年度決算・基金額推移表

長谷町長

- ・今回の総合教育会議では結論は出ないと思っているので、今後毎月教育委員会の会議の中で議論を深めてほしい。奨学金を活用していただけるよう制度の見直しについて議論してほしい。間に合うようであれば令和8年度から利用できるように進めてほしい。基金の2千万円は教育員会で持つお金なので、教育で使える基金を制度化するなどして活用してほしい。他町村の事例を参考にしてほしい。

(全国の)ほかの奨学金が使いやすいのでしょうか。

教育課長

- ・日本学生支援機構の標準的な返済額について説明

(4) 教育委員会組織について

教育課長より資料説明

長谷町長

- ・22ページ、23ページの関係法規に基づいてしか事業は進められないので、例規を整備しながら動いている状況。

令和8年度の事業で通学費補助3分の1を見直し、また中学校制服が変わるため購入助成、この2つは財源を見つけ増額および制度制定の考えであり、例規を整備していく。子育てには力をいれたい。

教育長

- ・新制服の費用について説明

【質疑等】特になし

5 その他

長谷町長

- ・9月定例議会の補正について

龍谷大学女子柔道部の湯前町ロゴ契約について総務課長に説明依頼

総務課長

- ・上記について内容を説明。目的は町の知名度アップ、交流人口の増加、地域の活性化、子供の夢創出など。胴着には付けられないので、ジャージ、ベンチコートなどにつけてもらう。

藤岡委員

- ・児童生徒の推移をみて、小中一貫校の議論も必要な時期かと感じる。保護者からもそのような声を聞き、そのように思っている保護者が多いことから、検討の時期かと思うが。

教育長

- ・小中一貫の取り組みは既に取り組んでいる。(行事合同開催、授業乗り入れなど)児童数が減少していく予想だが、現段階では校舎を一つにはできない。義務教育学校にといった場合は今行っていることとあまり変わらない。メリット、デメリットがあることをご承知いただきたい。今の形のほうが職員数は多い。(しばらくは加配があるが。)現段階で義務教育学校になることは尚早かと思う。
このほか、複式学級について説明。

長谷町長

- ・水上村は湯山地区の保護者から教育委員会に統合の要望あり。先進地視察など実施し数年かけて実現。

教育長

- ・まずは湯山小保護者から小学校の統合について要望、その後義務教育学校の議論がなされた。本町で議論するならば、保護者の方のご意見を十分取り入れていくべき。湯前町は小中学校が隣同士で交流がいつでもでき、環境が整っている。

林委員

- ・過去に高森町の小中学校に視察に行ったことがあり、ICTの環境が整い、高校生まで一緒に取り組みを行われていた。大変すばらしい取り組みであったが、湯前町の良さを生かすには現在のままが良い、湯前町にとってメリットが多いとは思えないと教育委員会の中で教育長のお考えを聞き、外から見てるだけではわからないことがあると感じた。

長谷町長

- ・小中学校校舎も防水工事など実施。将来的には一つになるかもしれないが、しばらくは現状のままでいく予定での工事であった。

教育長

- ・児童数が減少していくのは必至だが、義務教育学校がベストなのか、保護者にも学んでいただく機会が必要。

長谷町長

- ・部活動などのこともあるので、今すぐではないが、広域的に見据えていく必要があるのかと考えている。
- ・義務教育学校になり学力が向上するかですが、学校の先生の質によるとのこと。

教育長

- ・人吉三中も統合の話があるが、大畑は大畑、学校は地域のシンボルである。湯前は小中学校隣り合わせで、恵まれている。
 - ・高森にも視察にいきましたが、現在湯前町で行っている小中一貫教育とあまり変わらないことが行われていた。
- 町には多くの教育費予算を組んでいただいている。先生方も頑張っておられ、充実している。
- ・義務教育学校を設置する自治体の思いを受けて、一定の期間は人事配置に配慮されるが、湯前町は良い人材が配置されている。

午後 4 時 3 0 分 閉会

作成者 教育課長 赤池 寛子